

～ All for one, One for all. ～

# 光 の 家

## LIGHT HOUSE WITH THE BLIND

視覚障害者総合福祉施設  
東京光の家会報

— 178 号 —

2014 年 8 月 1 日発行

だから、あなたがたはこう祈りなさい、  
天にいますわれらの父よ、  
御名があがめられますように。  
御国がきますように。  
みどころが天に行われるとおり、  
地にも行われますように。  
わたしたちの日ごとの食物を、  
きょうもお与えください。  
わたしたちに負債のある者を  
ゆるしましたように、  
わたしたちの負債をも  
おゆるしてください。  
わたしたちを試みに会わせないで、  
悪しき者からお救いください。

マタイによる福音書

第六章 九〜一三節

### 巻頭言

## 一連の新聞記事に接して

「本当に社会福祉法人の売買が横行して  
いるのか。理事長ポストを巡って数億円の  
金銭が動いているような実態があるのか」

社会福祉法人東京光の家 理事長 田中亮治



おいしそうなサクランボ、見つけた!!  
(光の家就労ホーム 山梨日帰り旅行にて)

(1) これに関する記事はわが国でも名のおつた一流大新聞のものであります。私はこの記事を見て驚きました。驚くと同時に悲しい気持ちにもなりました。更に、何となく怒りが込みあげてきて、身の置き所のないような気持ちにもなりました。私の職業と私の地位にも深くかわりのある内容の記事だったかも知れません。が、それにしても大きな衝撃を受けました。

私は人生の大半を社会福祉の仕事に身を置いてきた人間です。長い故に、又、人間としての不徳なるが故に、多くの間違いを犯してきたのではないかと自ら危惧さえも抱いてきた人間でもあります。今の私の立場は、この社会福祉法人東京光の家の経営責任を担っている立場であり、理事長という立場を命ぜられて、いる人間でもあります。従って、

過日おこなわれた当法人「理事・評議員会」においても、更に現場の幹部職員会においても首題に関する新聞記事をコピーし、配付して、自分なりの考えを述べた次第であります。

何はともあれ、社会福祉法人そのものを売ったり、買ったりする事など私などの想像を超えた事柄であります。又、理事長のポストを巡って数億円の金銭が動いたなどという事も、これ又想像さえもできない事であります。だからと言って、自分なりの考えを述べると言っても、このような記事の内容は、自分には無関係の事であり、自分には何らの関係なしなどとエラそうな事を言うものではありませんし、第一そんな事を言える人間ではないからです。それにしてもあの新聞記事にあるような実態が本当にあるものでしょうか。私には寡聞にして

知りません。そこで、私は何名かの社会福祉関係者の方に尋ねてみました。「この稿にある首題についての記事があるが、このような実態があるんですか？」と聞いてみました。これに対する応答は一樣にこうでした。

「すくなくとも、自分の法人の近くには新聞記事にあるような実態がある事は知りません」という事でした。

(2)

何れにせよ、この度の新聞記事により、私ども「社会福祉法人」に対する一般社会の信頼は大きく損われた事は否定できないと思います。現実の実態がどうであれ、本当に残念で仕方ありません。

私は小さな人間に過ぎませんが、ただ永年障害者（視覚障害者）福祉の現場で働いてきた者として、今後共誠実に、精一杯働く事で、その名誉回復の一助になりたい気持ちで

努めて参りたい所存です。

勿論、私などの如き者は、「何ら恥入ることなし」と言

った大それた事を言える人間ではありません。ただ多くの社会の人々のご支援を頂いてこの仕事に携わっている身を忘れず、自己に課されている責任をしっかりと果たすだけです。この小さな事によっても、私ども社会福祉法人に対して少しでも見直して頂ける事を夢見て、いやそうなる事を祈りつつ精進させて頂くのみです。ご理解くださり、ご叱正を乞う次第です。



## 会報五言

一 厳しい酷暑が予想される。でもこれを楽しめる。越えた者が秋の心地良き日が約束される。

一 人生の厳しい現実。山あり谷あり急坂あり。しかし懸命に歩む時いつかどこかで平坦な道に出会うこともある。

一 昨日（きのう）は過ぎ去り、もう二度とこない。明日（あした）はいつも明日だ。これも決してこない。

一 あるものはいつも今日だけ。昨日でもない、明日でもない。あるものはやはり今日だけ。

一 だから生きるのは今日だけ。努力するのも今日だけ。そうだ、生きて努力できるのは今日だけだ。

# 東京光の家の地域福祉貢献活動

## ～高次脳機能障害の機能訓練～

社会福祉法人東京光の家 常務理事 石渡 健太郎

今年度より東京光の家は、地域福祉の貢献活動として地域の高次脳機能障害者の方を始めとした脳に障害を持たれた方々に対してリハビリを中心に機能訓練事業を行うことになりました。

もともとこの事業は日野市福祉事業団「つばさ」が行ってきた事業でしたが、平成二五年度末を持って日野市福祉事業団の解散に伴い継続が困難となっていた事業でした。

日野市内で機能訓練事業を行っていたのが「つばさ」と東京光の家の二箇所のみという状況であったため日野市よりこの事業の引き受け先として東京光の家に依頼がありました。

いろいろ検討した結果、地域福祉に貢献できるのであればという事でこの事業をお引き受けいたしました。

ました。

現在、九名の利用者の方々を「つばさ」よりお引き受けし、毎週四回にわたり理学療法・作業療法・言語療法の三つの機能訓練プログラムを組み、理学療法士や言語療法士の協力を得ながら行っています。

東京光の家は、今まで視覚障害者の専門施設として九五年もの歴史を刻んできましたがこの事業を通じて新たに脳に障害を持たれた方を対象にした事業にもチャレンジすることにしました。

当初は車いす用の送迎体制を組んだり言語療法やリハビリ等、光の家が経験していない訓練プログラム内容があり苦労しましたが徐々に訓練スキルも向上し軌道に乗ってきました。今後、更に地域福祉の拠点として多様な機能を發揮していきたいと思えます。



<理学療法>理学療法士によるリハビリ



<障害者自立支援センター>地域機能訓練が行われています



<作業療法>正しい姿勢の保ち方



<言語療法>言語療法士による会話トレーニング

各施設のトピックス  
指定障害者支援施設 光の家新生園  
二泊旅行 ～大井川鐵道の旅～

光の家新生園では、六月一七日～一九日にかけて、二泊旅行に行きました。

今回の旅のテーマは「大井川鐵道の旅」ということで目的地は静岡県でした。バスでの長距離移動の為、一日目にはバスレクを実施しました。旅行係の利用者二名が、旅行前から話し合いを重ね、ご当地クイズやイントロクイズ等様々なクイズ内容を考え、当日には司会者として盛り上げてくれました。利用者の皆さんも積極的に参加し、おかげで移動中も笑顔と笑い声でもても明るい雰囲気となりました。

光の家新生園では、六月一七日～一九日にかけて、二泊旅行に行きました。笛の音や車輪の音、煙のにおいを感じ、普段の電車との違いをそれぞれが楽しめたようです。

そして、利用者にとって旅の楽しみの一つである家族等に向けたお土産を思い思いに購入し、最初から最後まで笑顔が多く見られた旅行となりました。

（光の家新生園 訓練課

八谷 早希子）



これからSLに乗ってきます！

指定障害者支援施設 光の家栄光園  
四〇周年記念旅行 ～福島へ～

栄光園では六月二四日～二六日、七月一日～三日と二班に分かれて二泊旅行で福島へ行ってきました。

東京駅から福島までは新幹線にりましたが、久しぶりの新幹線で楽しみにしていた方が多かったようです。初日は、松原湖で遊覧船に乗り、綺麗な景色と船内で流れていた昔話や音楽が、とても好評でした。

二日目は、喜多方ラーメンを食べに行きました。各班で自由にラーメン屋さんに行き、好きなラーメンを堪能することが出来ました。その後は会津若松城へ行き、お城の中を散策し、お土産をたくさん購入している方もいました。



吾妻小富士の登山は最高！！

く、白杖を使つての登山は大変だったと思います。しかし、一生懸命に上った頂上の景色はとっても綺麗で、頂上では「着いたー！！」と歓声を上げ笑顔が見られました。

福島は山や緑が多く、バスガイドさんの福島弁も思い出に残っています。四〇周年にふさわしい記念旅行になりました。

（光の家栄光園 生活支援課

斉藤 真美）

救護施設 光の家神愛園

# 大洗一泊旅行

今年度の旅行は七月八日〜九日まで茨城県の大洗まで、田中理事長はじめ、利用者二九名、職員一八名の計四七名で行って来ました。一日目は、『かねふくめんたいパーク』でたくさん

の明太子の試食や面白い物を楽しみ、その後『アクアワールド大洗』へ見学に行きました。大きな水槽の中に魚やサメが沢山泳いでおり、魚の大きさや色の説明を皆真剣に聞いていました。今回の旅行では海に行きたいと希望があったため、海のすぐ近くのホテルに宿泊し、波の音を聞きながらゆつくりとした夜を過ごすことが出来ました。二日目は、多くの方が楽しみにしていた砂浜体験と鉄道体験です。砂浜では靴を脱いで砂浜の感触を感じ、足だけ海に入る方もいました。鉄道体験では、デー

ゼル列車の音や揺れを感じ、普段乗る機会の少ない電車を楽しむことが出来ました。今回の旅行は、一二年ぶりに田中理事長も参加し、利用者の皆さんも理事長との旅行を満喫してました。年に一度の旅行が心に残る楽しい旅になるように今後も企画していきたいと思えます。

(光の家神愛園 支援課 信川 美季)



田中理事長と一緒に楽しい旅

障害者通所就労施設 光の家就労ホーム

# 初めての日帰り旅行

日帰り旅行にて山梨へサクランボ狩りに行ってきました。梅雨時期で雨が毎日降っている中、なぜか日帰り旅行の日だけ雨が降らず、初めての旅行を応援してくれているかの様でした。

まずはじめに、信玄餅で有名な桔梗屋さんに行き、みんなで

お菓子の詰め放題を行ったり、お土産を早々に買ったりました。次の行き先は大和自然学校。

山梨名物「ほうとう」作りに挑戦です。ほうとうは武田信玄の伝家の宝刀からきているという話を聞きながら、粉からこねたり、包丁で切ったりしながら、ほうとうを作りました。自分で作ったほうとうが入り、意外と暑い外で、温かいほうとうをふうふうと冷ましながらかべましたが、とってもおいしかったです。中には三杯食べた大食

(光の家就労ホーム 就労支援課 主任 中島 千絵)



おいしい「ほうとう」になあ〜れ♪

二〇一四年

# 旭が丘ふれあい夏祭り

七月一九日（土）に恒例の夏祭りが盛大に開催されました。当日は一八時の開始とともに雨が降り始め、二〇時頃まで降り続きました。そのような環境でしたが利用者のカラオケや地域の小学生の元気の良い歌とダンスで櫓の周りは大盛況でした。ステージでは倭成太鼓の迫力のある太鼓の演奏と豊田囃子保存会の素晴らしいお囃子、そして今年で二五年目になる盆踊りの東豊田婦人会の皆さんの参加により、祭りの雰囲気盛り上げて頂きました。模擬店では新メニューのお好み焼き串やトルネードワインナー等全部で一五種類と、カナンより特製スイーツ四種が加わりどれも大盛況でした。ゲームコーナーもストラックアウトや輪投げ等を行い、地域の子供達にも喜ばれました。

雨の中でしたが盆踊りに多くの方が参加してくれました。最後の光バンドの演奏では客席は賑わいを取り戻していました。花火も予定通りに行う事も出来て二〇一四年ふれあい夏祭りを終えることが出来ました。雨の中の開催でしたが、ボランティアや保護者の協力に心から感謝しています。

(夏祭り委員長 木戸場 健二)



2014 ふれあい夏祭り オープニング



にぎわいを見せる夏祭り会場



地域の子供達もサイコロ投げに参加



クライマックスの盆踊り！



地響きのような迫力ある和太鼓！



# 第一五回東京都障害者スポーツ大会

## 様々な表情の中で



### 第15回東京都障害者スポーツ大会 メダル数

	参加者数	金	銀	銅	計
光の家新生園	69	24	19	21	64
光の家栄光園	28	20	9	9	38
光の家神愛園	9	1	3	1	5
光の家就労ホーム	8	2	1	2	5
合計	114	47	32	33	112



念願の「金メダル」獲得!!



メダルに向けて、ヨーイドン!!



新記録に向けて、ジャンプ!!



雨の中を全力疾走!!

六月一日(日)・七日(土)

利用者も参加しました。初参

の二日間にわたり、東京都障害者スポーツ大会が行われ、知的障害、身体障害の各部門で、光の家の利用者が熱戦を繰り広げました。

利用者も参加しました。初参加の緊張、メダル獲得への意気込み：表情は様々でしたが、それぞれが全力を尽くし、健闘しました。

昨年度、新生園の利用者一名が参加した知的障害部門に、今年度から就労ホームの

身体障害部門では、新生園の若い利用者から、栄光園、神愛園の年輩の利用者まで、普段の訓練、仕事や作業の合

間を縫って行った練習の成果が、自己記録の更新やメダルの獲得、そして何より、一人ひとりの達成感となって表情に表れていました。最後に嬉しいお知らせがあります。昨年度に続き、新生園の高橋繁さんがサウンドテニールテニスで優勝し、一月一日(土)から行われる第一四回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」へ東京都代表選手として派遣

されることになりました。光の家の代表として、ぜひ全国大会でも活躍してほしいと思います。

(光の家新生園 訓練課 廣瀬 武生)

廣瀬 武生

平成  
26  
年

# 人事院介護等実地体験研修

東京光の家では毎年、人事院

公務員研修所が実施する「介護  
等実地体験研修」の受け入れを  
行っています。今年は五月一九

日～二三日と、六月九日～一三  
日の二班にわかれて、それぞれ

四名ずつ、計八名（厚生労働省  
より三名、総務省・財務省・文

部科学省・環境省・警察庁より  
各一名）が光の家に来園され、

各施設にて作業や訓練、行事等

に参加して頂きました。

研修員の皆さんからは「利  
用者一人ひとりが尊重され、個  
別に作成された目標に向けて、

職員は愛をもって支援を行って  
いる」、「利用者は皆とても明る

く、生きる実感と活動する喜  
びを感じて、希望を持って生活

している」、「施設が地域の中に  
開放され溶け込んでいる」とい

った声が聞かれました。



実習では利用者の皆さんと仲良くなりました



高尾山ハイキングでの1コマ



立派にガイドヘルパーを務めました



利用者を前に最後のお礼の挨拶

## 光の家鍼灸 マッサージホーム

真心をこめた施術で、皆さ  
まの健康に奉仕させて頂き  
ます。

**受付時間**（電話予約制）

午前九時～午後七時半

**定休日** 毎週水曜日

**電話**

〇四二（五八二）七二〇九

**料金**

はり 四、〇〇〇円

マッサージ

三〇分 二、五〇〇円

七〇分 三、八〇〇円

一〇〇分 五、〇〇〇円



※ 毎月1日はサービスデー、500円割引



# 第4回 光の家オープンハウス ～見えない人の暮らし～

## 光の家に来てみませんか



アイマスクをした歩行や卓球、また、ミニ点字教室など、楽しく体験をしていただける企画を用意しています。視覚障害の方の感覚や気持ち、暮らし方などを少し理解することができるのではないのでしょうか。  
開催期間中、お好きな時間にご来園ください。

### 【日時】

平成26年9月20日(土) 10時～16時

### 【会場】

東京光の家 地域交流センター1階

### 【お問い合わせ】

東京光の家 地域貢献活動室  
TEL：042-581-2340

## 同行援護従業者養成研修 受講生募集 (東京都指定研修)

～視覚障害者との歩き方・援助の仕方を学びませんか～

【研修期間】平成26年10月20日(月)～11月2日(日)

通信期間：平成26年10月20日(月)～11月2日(日)

通学期間：平成26年11月1日(土)、2日(日)の2日間

【場所】東京光の家 地域交流センター 研修室他

【費用】17,000円 【定員】20名 ※定員になり次第メ切

【研修修了者】同行援護従業者の認定資格を取得

【お問い合わせ】東京光の家 TEL：042-581-2340



障害のある方やそのご家族から、生活に関してお困りのこと等をご相談いただき、福祉サービスの利用援助や専門機関のご紹介を行う事業所です。来所での相談、電話相談、訪問による相談支援を行っています。

※「サービス等利用計画の作成」等もご相談ください。

開所日時：月曜日～金曜日 9：00～18：00

対象者：日野市及び周辺地域にお住まいの障害のある方、及びそのご家族の方

お問い合わせ：東京光の家 光の家相談支援事業所 TEL：042-581-2340

※紙面の写真は、すべての本人の許可を得て掲載させて頂きました。

土屋正和様	宮田容子様	川井秀子様	杉田功様	船橋敬様	綾木潔様	佐藤農園様	岩井正義様	小西慶亮様	田中邦夫様	平岡君子様	折茂冬貴様	守屋ゆみ子様	比嘉康彦様	公益信託東京日本橋ライオンズクラブ立川福祉基金様					
スイカ	米	組紐台	絹糸	メロン	枝豆	スイカ	メロン	人参	純子様	バナナ	妙子様	官製はがき	ねぎ	じゃがいも	梅漬け	官製はがき	モズク(塩漬)	点字ディスプレイ購入	フットパソコン及び金二九五〇〇〇円
八玉	三〇kg	一台	六kg	一〇玉	一一kg	一一玉	三三玉	二二kg	三四kg	五〇枚	二kg	一八kg	一一kg	五〇枚	一九kg	一kg	一kg	一kg	一kg

### 寄付者名簿

平成二六年四月一日  
～七月三二日

正統バンドから光バンドへ  
**愛のサウンドフェスティバル**



**日時**：平成二六年九月一三日(土)  
 開場一四時〇〇分・開演一五時〇〇分

**会場**：たましんRISURUホール(立川市市民会館 大ホール)  
 東京都立川市錦町三ー三ー二〇

**交通**：① JR 中央線・南武線・青梅線・五日市線  
 立川駅南口から徒歩一三分

② 多摩都市モノレール 立川南駅から徒歩二二分

③ JR 南武線 西国立駅から徒歩七分

**福祉協力券**：一枚二、〇〇〇円

**司会**：高田 敏江(女優)

**お問い合わせ先**：社会福祉法人東京光の家  
 電話 〇四二(五八一)二三四〇

◎このコンサートの売上金の一部を福祉団体に寄付致します。

第37回 東京光の家  
 チャリティー  
 バザーに

物品提供を



東京光の家のチャリティー  
 バザーに多くの皆様のご協力  
 をお願いいたします。

**★期日** 一〇月一三日(月)  
 体育の日一〇時より

**★会場** 旭が丘東公園  
 (東京光の家前)

**★提供品についての希望**

日用品・おもちゃ・文具・  
 雑貨品・食器・食品・衣料  
 品(新品同様のもの)・古本・  
 CD・DVD等

**★お断じしているもの**

家具・中古の電気製品・布  
 団・雛人形・五月人形・ゴ  
 ルフセット・スキー等

**★提供品受付期間**

九月末頃まで  
 ※ご連絡頂ければ回収にお伺い  
 致します(多摩地区のみ)。

※尚、当日にお手伝いをしてい  
 ただけるボランティアの方達  
 を募集しています。

〜あとがき〜

残暑厳しき折から、いかが  
 お過ごしでしょうか。  
 今回、光の家会報一七八号  
 をお届け致します。

今、社会福祉法人を取りま  
 く環境は非常に厳しさが増し  
 きています。社会福祉法人  
 はもつと地域福祉に貢献すべ  
 きであるとか課税問題も浮上  
 してきています。そういった  
 中、東京光の家では、昨年度  
 から地域の障害者の方に対し  
 て「光の家就労ホーム」を立  
 ち上げました。

また、今年度からは日野市  
 福祉事業団が行っていた地域  
 の高次脳機能障害の機能訓練  
 事業も始めました。そして地  
 域の相談支援事業所等も開設  
 し、地域福祉に積極的に貢献  
 しています。

今後も地域福祉の拠点とし  
 て信頼が得られるよう努力し  
 ていきたいと思っております。  
 (常務理事 石渡 健太郎)

発行 行 一〇九一〇〇六五  
 東京都日野市旭が丘一七七一七  
 社会福祉法人 東京光の家  
 電話 〇四二(五八一)二三四〇  
 FAX 〇四二(五八一)九五六八